

【議会報告会】

○楠漁港海岸保全事業について、樋門が完全に閉められない状態であるとのことだったが、いつからそのような状態だったのか。また、毎年 1 回でも開閉をしていれば、判明しそうなものだが、そういった点検等はなかったのか。

⇒議員 これまでは地域住民の方に日常管理を行っていただいていたが、昨年、業者に管理を委託したところ、腐食が判明した。今後は市でしっかりと管理していく。

○請願内容について、農業者戸別所得補償制度がなくなると地域の水路等の管理にも影響があるとのことだが、その点は問題ないのか。

⇒議員 環境維持に関する県の補助制度を活用して、対応していきたいとの説明を執行部から受けている。

○楠地区以外の海岸管理はどうなっているのか。富洲原地区も海が近く、水門が存在するが、どうか。

⇒議員 今回の議案は、市管理の漁港ということで、産業生活常任委員会に付託されたものである。富洲原地区等の海岸については、四日市港管理組合が所管している。東日本大震災では、水門を閉めようとして津波被害にあったという話も聞いている。所管がどこかがわかりにくいということは、かねてより聞いているので、今後も議論を進めていきたい。

○水門に限らず、インフラ整備の老朽化問題が課題と考えるが、道路や橋などはどうか。地震などで橋が落ちるようなことはないか。

⇒議員 四日市市では直下型の震度 7 クラスの地震に耐えられるよう、橋などの耐震整備を進めている。具体的には、炭素繊維を橋げたに巻きつけるなどの工法により補強を行っている。橋等は都市整備部が主に所管しており、計画的にチェックを行っている。樋門の状態については四日市港管理組合が管理しているが、私どももわからないことが多く、住民の皆さんも気づいたことがあれば、言ってほしい。

【シティ・ミーティング】

○聴覚障害者にも配慮した地域社会づくりをお願いしたい。聴覚障害者は見た目には健常者と変わらないが、日常生活の中で、放送やサイレンが聞こえないなどの支障がある。聴覚障害者もよく見るときょろきょろしているなどの特徴があり、気づいた人が声をかけると落ち着く。手話ができなくても、筆談や身振り手振り、手に指で字を書くなどの意思疎通の方法はあり、また、聴覚障害者の中には口の動きから、会話の内容がわかる人もいる。是非、そういった聴覚障害者も地域にいることを念頭に地域社会づくりを進めてほしい。

⇒議員 重要な点についてお話しいただいたと思う。聴覚障害者の実情を多くの市民は知らないことだと思う。より市民に知る機会を設けられるよう市政に反映していきたい。

⇒議員 今年、障害者差別解消条例等調査特別委員会が設置されており、直近では7月5日に委員会が開かれる。聴覚障害を含め、点字ブロックや災害時の対応など、今後の議論を進めていきたい。

○三重県では手話言語条例が制定されたが、四日市市としてはどう考えているか。

⇒議員 手話言語条例そのものではないが、障害全体をとらえて差別解消につながる条例づくりの議論を進めていきたいと考えている。いただいた意見は参考にさせていただくので、今後、障害者差別解消条例等調査特別委員会を注目していただきたい。

○地域活動費（館長権限予算）については、大変ありがたく思っている。柔軟に利用できるのも助かっている。

⇒議員 地域活動費（館長権限予算）については昨年度も議論をしており、今後も運用について検討を進めていきたい。

⇒議員 少子高齢化によって人手不足となり、地域の担い手は高齢者が主体となっていくことが想定される。その中で行政と地域でうまく役割分担をするというのが市民協働の考え方で、地域活動費はそのための取り組みであり、女性や障害者の社会参加なども視野に入れて、これから煮詰めていかなければならない。

○四日市市には多くの助成制度があり、その助成制度を活用するのは自治会長等になると考えられる。自治会長など地域の役員は定年後の住民が担うことが多いと思うが、定年

後に突然役員等をするのは敷居が高いと思われる。地域活動を活性化するためにも定年間近な人を対象に、研修のようなものを行ってはどうか。

⇒議員 地域づくりマイスター講座という自治会長向けの活動はあるが、一般の方向けの講座はないので、ご意見を参考にして対応を考えていきたい。

⇒議員 地域の防犯活動を通じて、地域に溶け込むことができた経験がある。特に男性は地域に溶け込みにくいところがあるが、そういった活動を通じて、定年後にうまく地域に参加できた好事例がある。

○東員町では交番の跡施設を活用してカフェを行っている。ネオポリスの中心にあり、地域の憩いの場になっているが、四日市市も使わなくなった施設の活用例はあるのか。

⇒議員 四日市市の采女町でも地域でカフェを始めている。

⇒議員 四日市市においても、学校の統廃合等により施設が使われなくなることがあるが、そういった施設も市民の財産なので、大切に活用していきたいと考えている。

⇒議員 県の所管ではあるが、北警察署が移転した後の跡地利用についても議論があり、地域とも話をしながら進めていきたい。

⇒議員 活用または売却といったことも含めて話し合い、進めていきたい。どちらにしても無駄にならないように地域と意見交換をしていきたいと考えている。

○四日市北警察署が移転してしまうと、他に交番は近くになく、地域の安全について不安を感じる。イオン四日市北店など人が集まる場所もあることから、配慮をお願いしたい。

⇒議員 ご意見として承る。

○博物館でボランティア活動を行っており、定年を機に積極的に活動したいと考えたが、年金暮らしの身にはボランティアに行くための交通費をねん出することに負担を感じる。高齢のボランティアも多く、交通費だけでも出してもらえるとありがたい。そうすれば、ボランティア活動自体も盛り上がると思うがどうか。

⇒議員 博物館については、教育民生常任委員会の所管なので、ご意見を伝えさせていただく。

○四日市港から中部国際空港への連絡船について、今後の動きはどうなっているのか。また、四日市港について観光と結び付けて考えることはできないか。

⇒議員 行政として船を運航することは考えていない。また、観光とは異なるが、JR 四日市駅周辺の活性化と合わせて、四日市港の活性化の検討をしていきたい。

○議会報告会について、他市では年々参加者が減っていると聞くが、四日市市での参加者数の推移はどうなっているのか、また、現在年4回行っているが、実施回数を減らす想定はあるのか。

⇒議員 議会報告会の制度開始当初は多くの方に参加していただいていたが、現在は減少傾向にある。参加者の傾向としては、委員会で取り扱った議案に関係する方が出席することが多いが、地域の方に出席いただき、その土地ならではのことや全市的なことについて意見を頂戴したいと考えている。現在、開催方法についても検討しているところで、ショッピングセンターを使って行うという意見も出ているところだ。

⇒議員 10月に日永カヨーにて教育民生常任委員会の議会報告会が開催される。

○昨年度は土曜日や日曜日にも議会報告会が開催されていたが、今年度についてはどうか。

⇒議員 今年度も各常任委員会ごとに一度は土曜日か日曜日のどちらかで開催する。

○資源物の回収の日に持ち去り行為が行われており、危険な目に合うなど、対応に困っているが、市としてどう考えているか。

⇒議員 持ち去り行為について事前情報をもって、見張りをつけていても、窃盗グループに軽トラックで持ち去られてしまうなどの状況も聞いている。条例に罰則があるので、防犯カメラで犯行を記録すると、警察で対応してくれる。四日市市でも工夫をして対応しているところであるが対応方法をさらに検討しなければならない。